

2014—2015年に噴出した阿蘇火山灰の 微細組織の特徴と時間変化

産総研
活断層・火山研究部門

大槻 静香

まとめ

- 阿蘇2014年11月–2015年4月までの噴火活動で噴出した火山灰を,石基結晶の量・特徴によって褐色3タイプ・黒色3タイプに分類し,その噴出過程を考察した.タイプ別の石基結晶組織や噴出量からマグマの脱水・結晶化や火道内部環境を推定できる可能性がある.
- 細粒の岩片を取り込んだ粒子(包含粒子)を発見した.構成の特徴から,細粒の岩片は火道内部で取り込まれたものと考えられる.
- 今後は火山灰タイプと噴出量の関係を調べ,噴火活動との対応を考察する.